

局長級人事異動 知事コメント

(令和6年3月26日)

- 1 今春の局長級人事は、少子高齢化や国際競争力低下、気候変動など、構造的な課題が先鋭化する中、持続可能な明るい未来の東京の実現に向けて、既存の仕組みにとらわれず大胆な政策を展開していくため、実力本位の配置を行った。
- 2 技術的側面から都政運営を補佐する都技監には、都市基盤整備に尽力し、課題解決に積極的な谷崎都市整備局長を現職兼務で配置する。
- 3 政策面からトップマネジメントを支える政策企画局長には、これまで中小企業支援やエネルギー政策等に邁進した坂本産業労働局長を配置する。その後任には、子供の未来に向けた政策を推進し、調整力に優れた田中子供政策連携室長を登用する。
- 4 首都の防災対策、区市町村支援等で、全庁の要となる総務局長には、高い実行力と組織運営力を有する佐藤福祉局長を配置する。その後任には、全庁的な視野と調整力を備えた山口住宅政策本部長を登用する。
- 5 主税局長には、財政分野に精通し、実行力のある佐藤政策企画局理事を、生活文化スポーツ局長には、困難な課題への突破力を有する古屋建設局次長を、環境局長には、バランス感覚に優れ、高いマネジメント力を有する松本産業労働局次長を、それぞれ配置するほか、建設局長には、局事業の知識・経験が豊富な花井道路監を昇格させる。
- 6 久我交通局長、西山水道局長、佐々木下水道局長は、各局が抱える重要課題の解決に向けて、公営企業管理者としての勤務を継続する。
- 7 子供政策連携室長には、行動力と調整力に優れた田中教育庁次長を登用し、その他の局長等では、スタートアップ・国際金融都市戦略を支える理事を新設するなど、能力・実績を重視した配置を行った。
- 8 今回の新任発令は、4月1日付で実施する。